

◆波乱の旅路 ゲーム内容（指導者用）

【趣旨・指導者の心得】

○体験しながら自然について考える力を引き出す「プロジェクトワイルド」の手法を取り入れた、環境教育プログラムです。体験の後に振り返りの時間を取ることで、鳥の生態や生育環境、人間との関わりなどが学べます。

人間の世界と違い、渡り鳥の渡りを脅かすものはすべて命に関わります。自然界の厳しさや、人間活動が鳥たちにどんな影響を与えるのか、みんなで考える時間を取りましょう。

※指示書のなかで猫や悪天候により死亡することもあります！

その際もしっかりと原因、問題を話し合います。

【事前ワーク】

参加者に問いかけます。

○皆さんが旅行に出かける際に、必要（助かる）になるものはなにがありますか？

車、飛行機、燃料、お金、鞆、良い天気、途中の休憩場所・・・

○では、旅行を脅かすものはなにがありますか？

車の故障、事故、食事や睡眠場所が見つからない、お金の紛失、盗難・・・

・では、鳥の渡りを脅かすものにはどんなことがあるのでしょうか？
体験しながら考えてみましょう！

各指示書の内容

- ①電線が障害になっている
- ②食べ物が豊富にある
- ③汚染された沼地の食べ物で病気になる
- ④他の鳥に襲われる
- ⑤鳥に襲われて羽を痛める
- ⑥研究のため足にリングをつけられる
- ⑦釣り糸に絡まるが人間に助けられる
- ⑧食べ物が豊富にある
- ⑨土砂降りの雨で動けない
- ⑩休憩地だった場所に建物ができている
- ⑪ジェット機にぶつかりそうになる
- ⑫食べ物や隠れ家が豊富にある
- ⑬上昇気流に乗って長距離を進める
- ⑭嵐のため動けない
- ⑮向かい風のため思うように進めない
- ⑯飼い猫に捕まり死亡 → ゴール
- ⑰ガラス張りの高層ビルが危ない
- ⑱人間に撃たれて死亡 → ゴール
- ⑲追い風に乗って長距離を進める
- ⑳野生動物保護区で食べ物が豊富にある
- ㉑予期せぬ寒さで食べ物が無い
- ㉒暴風雪の影響で死亡 → ゴール
- ㉓強風の影響でルートからはぐれる
- ㉔野生動物保護区で休憩 → ゴール

渡り鳥の気持ちになりきって活動してもらいましょう！



【ゲーム進行】

- このゲームは最大4グループずつ同時にスタートができる、すごろく形式のゲームです。
- 最初の4グループに①～④のどこから始めるかを決め、それぞれに分かれてゲームを始めます。進んだ先の指示書の内容に従ってゴールを目指しましょう。
- 指示書にはキーワードが書かれた場所がありますが、すごろくのため各グループ内ではすべては揃わないでしょう。最後に全体で協力して文章を完成させることで、協調性も生まれます。
- 約5分間隔で次の4グループをスタートさせます。
- 出発待ちのグループは、渡りの最中にとってどんなことが起きそうか、先にゴールしたグループはグループ内で振り返りを行いましょう。
- 全グループがゴールしたら全体で振り返りを行います。キーワードもそろえましょう。

【振り返り】

- 体験後は全体で共有と振り返りを行いましょう。
 - ・どんな問題がありましたか？（人工物・自然災害など）
 - ・助けになったことはありましたか？
 - ・無事にゴールできなかったグループにはなにが起きたのでしょうか？
 - ・全体でキーワードをまとめ、文章を完成させましょう。